

# 決算補足説明資料 2013年度 決算

2014年5月8日  
田辺三菱製薬株式会社  
証券コード:4508



本資料に関するお問い合わせ  
広報部 TEL 06-6205-5211  
FAX 06-6205-5105

## 目次

<b>1</b>	<b>2013年度 決算の概要</b>	
	1. 2013年度 業績サマリー 2. 2014年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
<b>2</b>	<b>2013年度 連結決算について</b>	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② セグメント別売上高 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	④ 営業外損益 ⑤ 特別損益 ⑥ 法人税等	4
	⑦ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
<b>3</b>	<b>2014年度 業績予想について</b>	
	① 損益予想 ② 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	③ 主要製品売上高予想	10
	④ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑤ 減価償却費予想	11
<b>4</b>	<b>5ヵ年連結財務数値</b>	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
<b>5</b>	<b>四半期業績の推移</b>	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
<b>6</b>	<b>新製品開発状況について(2014年5月8日現在)</b>	
	1. 新規薬剤	15
	2. 効能追加	16
	3. 導出品	17
	4. 2013年度第3四半期決算発表時点(2014年2月3日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2014年5月8日現在)	19
	① 新規薬剤 ② 効能追加	19
	③ 導出品	20
<b>7</b>	<b>その他</b>	
	1. 関係会社	21
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社一覧	21
	2. 株式の状況	22
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	
	④ 配当金／株価推移	22
<b>参考</b>	<b>主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース</b>	<b>23</b>

# 1 2013年度 決算の概要

(億円未満四捨五入)

## 1. 2013年度 業績サマリー

売上高	4,127 億円	前期比	△ 65 億円	△ 1.6 %
○医薬品事業	4,116 億円	前期比	△ 31 億円	△ 0.7 %
○その他	10 億円	前期比	△ 34 億円	△ 76.8 %

「医薬品事業」は、前期比△0.7%、31億円減収の4,116億円となりました。

国内医療用医薬品は、抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤「レミケード」や、その皮下注射タイプである「シンボニー」などが売上を伸ばしたものの、後発品の影響拡大やジェネリック医薬品事業における提携解消の影響などもあり、前期比4.2%減収の3,417億円となりました。

海外医療用医薬品は前期比5.8%減収の220億円、一般用医薬品は前期比15.6%減収の45億円となりました。

医薬品その他は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入の増加などにより、前期比47.4%増収の434億円となりました。

「その他」は、2012年7月にファインケミカル事業を譲渡した影響などにより前期比△76.8%、34億円の減収となりました。

◎各事業の主たる製品及び役務の内容

医薬品事業：医療用医薬品、一般用医薬品

その他：化成品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	591 億円	前期比	△ 98 億円	△ 14.3 %
------	--------	-----	---------	----------

営業利益は前期比△14.3%、98億円減益の591億円となりました。

2012年10月の血漿分画事業の統合による血漿分画製剤の仕入品への変更、売上製品構成の変化、在庫評価損の計上などの影響により、売上総利益は前期比95億円減益の2,433億円となりました。売上原価率は前期比1.3ポイント上昇しています。

販売費及び一般管理費は、上記の事業統合の影響により血漿分画事業関連費用の発生は減少しましたが、研究開発費などが増加したため、前期比4億円増加し、1,842億円となりました。

経常利益	619 億円	前期比	△ 75 億円	△ 10.8 %
------	--------	-----	---------	----------

当期純利益	454 億円	前期比	35 億円	8.4 %
-------	--------	-----	-------	-------

経常利益は前期比△10.8%、75億円減益の619億円、当期純利益は前期比+8.4%、35億円増益の454億円となりました。

為替差益が25億円(前期は為替差損が11億円)発生したことなどにより、営業外損益が前期比23億円改善しました。

仲裁裁定に伴う特別利益、投資有価証券売却益などで、153億円の特別利益が発生しました。なお、前期には、固定資産売却益などで42億円の特別利益を計上しています。

特別退職金、減損損失などで、48億円の特別損失が発生しました。なお、前期には、事業統合関連損失などで59億円の特別損失を計上しています。

## 2. 2014年度 業績予想サマリー

売上高	4,090 億円	前期比	△ 37 億円	△ 0.9 %
営業利益	600 億円	前期比	9 億円	1.5 %
経常利益	615 億円	前期比	△ 4 億円	△ 0.6 %
当期純利益	405 億円	前期比	△ 49 億円	△ 10.8 %

## 3. 配当金

	2014年度(予想)		2013年度	
	上期末	年間	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	20	40	20	40
配当性向 (のれん償却前)	- (-)	55.4% (44.4%)	- (-)	49.4% (40.5%)

## 2 2013年度 連結決算について

(億円未満四捨五入)

### 1. 損益状況

#### ① 損益実績

(単位:億円)

	2013年度	前期比較			予想比較		
		2012年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%
売上高	4,127	4,192	△ 65	△ 1.6	4,190	△ 63	△ 1.5
売上原価	1,694	1,664	30	1.8	1,700	△ 6	△ 0.4
売上原価率	41.0%	39.7%			40.6%		
売上総利益	2,433	2,528	△ 95	△ 3.7	2,490	△ 57	△ 2.3
販管費	1,842	1,838	4	0.2	1,860	△ 18	△ 1.0
販管費比率	44.6%	43.9%			44.4%		
営業利益	591	690	△ 98	△ 14.3	630	△ 39	△ 6.2
経常利益	619	694	△ 75	△ 10.8	655	△ 36	△ 5.5
特別損益	106	△ 17	123	-	40	66	-
当期純利益	454	419	35	8.4	450	4	0.9

#### ② セグメント別売上高

(単位:億円)

	2013年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2012年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%	
医薬品事業	4,116	4,147	△ 31	△ 0.7	4,180	△ 64	△ 1.5	国内医療用医薬品 △148億円 海外医療用医薬品 △14億円 製造受託品 △10億円 技術導出契約金等 +149億円 一般用医薬品 △8億円 詳細は5ページ、主要製品売上高を参照
構成比	99.7%	98.9%			99.8%			
国内	3,528	3,691	△ 163	△ 4.4	3,651	△ 123	△ 3.4	
海外	588	456	132	29.0	529	59	11.1	
その他	10	45	△ 34	△ 76.8	10	1	6.9	ファインケミカル事業譲渡による減収
構成比	0.3%	1.1%			0.2%			
国内	5	24	△ 19	△ 79.8	4	0	7.9	
海外	6	21	△ 16	△ 73.4	5	0	6.0	
売上高合計	4,127	4,192	△ 65	△ 1.6	4,190	△ 63	△ 1.5	海外売上高比率 2012年度:11.4% 2013年度:14.4% 平均為替レート 2012年度:1US\$ = 82.61円 2013年度:1US\$ = 100.49円
構成比	100.0%	100.0%			100.0%			
国内	3,533	3,714	△ 181	△ 4.9	3,655	△ 122	△ 3.3	
海外	594	477	116	24.4	535	59	11.1	

#### ③ 売上原価／販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2013年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2012年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%	
売上原価	1,694	1,664	30	1.8	1,700	△ 6	△ 0.4	血漿分画事業譲渡による仕入販売への切替えに伴う売上原価率上昇など
比率	41.0%	39.7%			40.6%			
販管費	1,842	1,838	4	0.2	1,860	△ 18	△ 1.0	
比率	44.6%	43.9%			44.4%			
研究開発費	704	665	39	5.8	710	△ 6	△ 0.8	
比率	17.1%	15.9%			16.9%			
研究開発費以外	1,138	1,173	△ 35	△ 3.0	1,150	△ 12	△ 1.1	
人件費	484	519	△ 35	△ 6.8	483	1	0.1	血漿分画事業譲渡による減少など
のれん償却額	106	103	3	3.3	104	2	2.3	
その他	548	551	△ 3	△ 0.6	563	△ 15	△ 2.7	
総人件費	850	900	△ 50	△ 5.6	838	12	1.4	

(注) 2013年10月30日 2013年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値

## ④ 営業外損益

(単位:億円)

	2013年度	2012年度	増減額	主なポイント
営業外収益	69	45	24	
受取利息	15	17	△ 2	
受取配当金	8	8	1	
持分法による投資利益	6	4	2	
受取賃貸料	3	3	0	
為替差益	25	-	25	
その他	10	13	△ 3	
営業外費用	41	41	1	
出向者労務費差額	8	5	3	
寄付金	7	5	2	
為替差損	-	11	△ 11	
その他	27	20	7	

## ⑤ 特別損益

(単位:億円)

	2013年度	2012年度	増減額	主なポイント
特別利益	153	42	111	
仲裁裁定に伴う特別利益	110	-	110	レミケードの仲裁裁定による精算金など
投資有価証券売却益	24	9	15	
固定資産売却益	10	30	△ 20	
段階取得に係る差益	9	-	9	メディカゴ株式取得に伴う既保有分の時価評価差益
事業譲渡益	-	4	△ 4	前期)ファインケミカル事業譲渡益
特別損失	48	59	△ 12	
特別退職金	26	-	26	日本血液製剤機構、シミックCMO足利等への転籍に伴う割増退職金など
減損損失	14	8	6	当期)吉富旧研究棟、旧日本橋ビルほか 前期)枚方研究所、名張第二研修所ほか
投資有価証券評価損	6	3	3	
投資有価証券売却損	0	4	△ 4	前期)長生堂製薬
事業統合関連損失	-	23	△ 23	前期)血漿分画事業譲渡に伴う損失
HCV訴訟損失引当金繰入額	-	20	△ 20	前期)特措法延長による追加繰入れ
その他	2	3	△ 1	

## ⑥ 法人税等

(単位:億円)

	2013年度	2012年度	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	724	677	48	
法人税、住民税 及び事業税	224	269	△ 45	
法人税等調整額	47	△ 12	58	
少数株主損益	0	1	0	
当期純利益	454	419	35	

## ⑦ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2013年度	前期比較			予想比較		
		2012年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	4,072	4,094	△ 22	△ 0.5	4,135	△ 63	△ 1.5
国内医療用医薬品	3,417	3,566	△ 148	△ 4.2	3,544	△ 127	△ 3.6
レミケード	763	735	28	3.9	790	△ 27	△ 3.4
セレジスト	178	184	△ 6	△ 3.4	178	△ 1	△ 0.3
メインテート	155	141	13	9.6	162	△ 8	△ 4.7
タリオン	137	143	△ 6	△ 4.4	156	△ 19	△ 12.4
クレメジン	126	122	4	3.0	129	△ 4	△ 2.7
ウルソ	124	133	△ 9	△ 6.6	126	△ 2	△ 1.4
ヴェノグロプリンH	111	110	1	1.2	115	△ 4	△ 3.8
アンブラーグ	112	130	△ 18	△ 14.0	114	△ 2	△ 1.9
ラジカット	109	133	△ 23	△ 17.6	103	6	6.1
デパス	98	104	△ 6	△ 5.5	98	0	0.2
シンボニー	94	53	41	77.5	101	△ 8	△ 7.5
レクサプロ	65	46	19	42.0	75	△ 11	△ 14.3
ヘルベッサー	69	76	△ 8	△ 9.9	68	0	0.4
タナトリル	62	71	△ 9	△ 13.2	61	1	1.0
ワクチン	284	288	△ 4	△ 1.3	307	△ 23	△ 7.4
テトラビック	67	45	22	48.3	84	△ 17	△ 20.0
インフルエンザ	72	77	△ 4	△ 5.9	82	△ 10	△ 12.1
ミールビック	60	80	△ 20	△ 25.1	63	△ 3	△ 4.1
田辺製薬販売取扱品(注2)	141	190	△ 49	△ 25.9	140	0	0.2
海外医療用医薬品	220	234	△ 14	△ 5.8	203	17	8.5
ヘルベッサー	58	59	△ 2	△ 2.9	56	2	4.0
アルガトロバン(ノバスタン)	27	29	△ 2	△ 8.0	23	3	14.3
タナトリル	18	21	△ 2	△ 11.9	18	0	1.7
製造受託品(注3)	58	68	△ 10	△ 14.1	55	3	6.3
技術導出契約金等	376	227	149	65.8	333	43	13.0
ジレニア ロイヤリティ	322	195	126	64.8	-	-	-
一般用医薬品	45	53	△ 8	△ 15.6	46	△ 1	△ 1.9
医薬品事業合計	4,116	4,147	△ 31	△ 0.7	4,180	△ 64	△ 1.5

(注1) 2013年10月30日 2013年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 2. 財務状況

### ① 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

	2013年度末	構成比%	2012年度末	増減額	主なポイント
<b>総資産</b>	<b>8,865</b>	<b>100.0</b>	8,668	197	
流動資産	5,405	61.0	4,767	638	
現金及び預金	272	3.1	203	69	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	1,065	12.0	640	425	国債、譲渡性預金の増加など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,235 (3.59)	13.9	1,299 (3.72)	△ 63 (△ 0.13)	
たな卸資産	937	10.6	928	9	
預け金	1,721	19.4	1,516	206	
繰延税金資産	82	0.9	84	△ 2	
その他	93	1.0	98	△ 5	
固定資産	3,460	39.0	3,901	△ 441	
有形固定資産	983	11.1	923	61	設備投資 +126億円、減価償却 △79億円、 除売却・減損その他 △17億円、 メディカゴ買収に伴う増加 +27億円など
無形固定資産	1,331	15.0	1,042	289	情報システム開発投資 +21億円、減価償却 △13億円、 メディカゴ買収に伴う増加(仕掛研究開発費 +309億円、 のれん +70億円)、合併時のれん償却 △100億円
投資有価証券	716	8.1	1,210	△ 494	国債の減少など
繰延税金資産	7	0.1	42	△ 35	
前払年金費用	-	-	369	△ 369	
退職給付に係る資産	163	1.8	-	163	
その他	260	2.9	316	△ 56	
<b>負債</b>	<b>1,086</b>	<b>12.3</b>	1,139	△ 52	
流動負債	818	9.2	861	△ 43	
仕入債務(注2)	340	3.8	381	△ 41	
短期借入金	12	0.1	12	1	
1年内返済予定の長期借入金	1	0.0	-	1	
未払金	168	1.9	156	12	
未払法人税等	102	1.1	162	△ 60	
その他	196	2.2	151	45	
固定負債	268	3.0	277	△ 9	
長期借入金	10	0.1	-	10	
繰延税金負債	134	1.5	84	50	
退職給付引当金	-	-	94	△ 94	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	16	0.2	16	△ 1	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	30	0.3	32	△ 2	
HCV訴訟損失引当金	26	0.3	36	△ 10	
退職給付に係る負債	21	0.2	-	21	
その他	32	0.4	15	16	
<b>純資産</b>	<b>7,778</b>	<b>87.7</b>	7,529	249	
株主資本	7,673	86.6	7,443	230	
資本金	500	5.6	500	-	
資本剰余金	4,512	50.9	4,512	-	
利益剰余金	2,666	30.1	2,436	230	当期純利益 +454億円、配当金支払い △224億円
自己株式	△ 5	△ 0.1	△ 5	0	
その他の包括利益累計額	△ 12	△ 0.1	36	△ 48	
その他有価証券評価差額金	87	1.0	72	16	
繰延ヘッジ損益	5	0.1	16	△ 11	
為替換算調整勘定	△ 24	△ 0.3	△ 52	28	
退職給付に係る調整累計額	△ 81	△ 0.9	-	△ 81	
少数株主持分	118	1.3	50	68	

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2) 仕入債務=支払手形(除く営業外支払手形)+買掛金

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2013年度	2012年度	増減額
現金・現金同等物期首残高	587	543	44
営業キャッシュ・フロー	699	606	93
税金等調整前当期純利益	724	677	48
減価償却費	91	84	7
減損損失	14	8	6
のれん償却額	106	103	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 94	△ 12	△ 82
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	79	-	79
前払年金費用の増減額(△は増加)	369	52	317
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 345	-	△ 345
HCV訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△ 10	11	△ 20
受取利息及び受取配当金	△ 24	△ 25	1
固定資産除売却損益(△は益)	△ 7	△ 28	21
事業譲渡損益(△は益)	-	△ 4	4
仲裁裁定に伴う特別利益	△ 110	-	△ 110
段階取得に係る差損益(△は益)	△ 9	-	△ 9
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 24	△ 5	△ 19
投資有価証券評価損益(△は益)	6	3	3
持分法による投資損益(△は益)	△ 6	△ 4	△ 2
事業統合関連損失	-	23	△ 23
売上債権の増減額(△は増加)	66	△ 19	84
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 7	△ 177	170
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 41	86	△ 127
未払金の増減額(△は減少)	8	△ 7	15
利息及び配当金の受取額	35	27	7
仲裁裁定金の受取額	122	-	122
法人税等の支払額	△ 281	△ 179	△ 102
その他	37	△ 8	45
投資キャッシュ・フロー	△ 243	△ 350	106
有価証券の取得・売却等	224	△ 93	317
定期預金の預入・払戻	△ 19	4	△ 22
預け金の預入による支出	△ 207	△ 207	0
長期預金の預入・払戻	-	19	△ 19
有形固定資産の取得・売却	△ 94	15	△ 109
無形固定資産の取得による支出	△ 20	△ 21	1
投資有価証券の取得・売却等	89	△ 5	95
子会社株式の取得による支出	△ 37	△ 60	23
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 179	-	△ 179
事業譲渡による収入	-	14	△ 14
その他	△ 1	△ 13	13
財務キャッシュ・フロー	△ 211	△ 237	26
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 2	△ 12	10
長期借入れによる収入	10	-	10
少数株主からの払込みによる収入	6	-	6
配当金の支払額	△ 224	△ 224	-
その他	△ 1	0	△ 1
現金・現金同等物に係る換算差額	18	25	△ 7
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	262	44	218
現金・現金同等物期末残高	850	587	262

\* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2013年度	2012年度
現金及び預金	272	203
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 48	△ 24
取得日から3か月以内に償還期限が到来する有価証券	420	206
短期貸付金(注)に含まれる現金同等物	6	2
預け金に含まれる現金同等物	200	201
現金・現金同等物	850	587

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2013年度	2012年度	増減額
設備投資額／発生ベース	126	92	34
システム投資額／発生ベース	21	22	△1

2013年度の主な設備投資		2013年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	64億円	田辺三菱製薬	20億円
(新本社・加島オフィス棟建設)	(16億円)		
田辺三菱製薬工場	40億円		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2013年度	2012年度	増減額
有形固定資産	79	73	6
無形固定資産	13	11	1

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツビシ タナベファーマ コリア(注1)	メディカゴ(注3)	天津田辺製薬(注2)	タナベ インドネシア(注1)
売上高	2013年度	472	141	41	0	36	23
	2012年度	524	190	42	-	34	24
営業利益	2013年度	12	4	3	△13	1	3
	2012年度	22	10	3	-	1	3
経常利益	2013年度	11	4	4	△12	1	3
	2012年度	19	10	4	-	1	3
当期純利益	2013年度	7	3	3	△12	0	2
	2012年度	13	5	3	-	1	1
研究開発費	2013年度	12	-	-	14	0	0
	2012年度	11	-	-	-	-	0
有形固定資産減価償却費	2013年度	24	0	1	1	1	1
	2012年度	20	0	1	-	1	1
総資産	2013年度末	576	63	33	365	44	36
	2012年度末	637	85	27	-	24	21
純資産	2013年度末	398	5	26	241	30	16
	2012年度末	397	5	21	-	18	15
従業員数(人)	2013年度末	1,394	172	125	189	456	480
	2012年度末	1,369	164	122	-	430	455

(注1) 海外子会社については、2012年度より決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。

(注2) 中国では法定決算日が12月末となっているため、天津田辺製薬については仮決算を実施しております。なお、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月間の情報となっております。

(注3) 2013年9月に買収したメディカゴについては、2013年度は同社の第4四半期(2013年10月～12月)のみを取り込んでおります。なお、メディカゴの決算期は12月末となっております。

### 3 2014年度 業績予想について

(億円未満四捨五入)

#### ① 損益予想

(単位:億円)

	2014年度 上期予想	2013年度 上期実績	増減額	増減率%	2014年度 通期予想	2013年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	2,010	2,028	△ 18	△ 0.9	4,090	4,127	△ 37	△ 0.9	海外売上高比率 2013年度:14.4% 2014年度予想:17.1% 計画為替レート 1US\$=105円
国内	1,672	1,767	△ 95	△ 5.4	3,392	3,533	△ 141	△ 4.0	
海外	338	262	76	29.2	698	594	104	17.6	
売上原価	785	824	△ 39	△ 4.7	1,615	1,694	△ 79	△ 4.6	
売上原価率	39.1%	40.6%			39.5%	41.0%			
売上総利益	1,225	1,204	21	1.7	2,475	2,433	42	1.7	
販管費	930	900	30	3.4	1,875	1,842	33	1.8	
販管費比率	46.3%	44.4%			45.8%	44.6%			
営業利益	295	305	△ 10	△ 3.1	600	591	9	1.5	
経常利益	305	322	△ 17	△ 5.3	615	619	△ 4	△ 0.6	
特別損益	10	111	△ 101	-	0	106	△ 106	-	
当期純利益	210	285	△ 75	△ 26.4	405	454	△ 49	△ 10.8	

#### ② 売上原価／販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2014年度 上期予想	2013年度 上期実績	増減額	増減率%	2014年度 通期予想	2013年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価	785	824	△ 39	△ 4.7	1,615	1,694	△ 79	△ 4.6	
比率	39.1%	40.6%			39.5%	41.0%			
販管費	930	900	30	3.4	1,875	1,842	33	1.8	
比率	46.3%	44.4%			45.8%	44.6%			
研究開発費	360	343	17	5.0	730	704	26	3.7	
比率	17.9%	16.9%			17.8%	17.1%			
研究開発費以外	570	557	13	2.4	1,145	1,138	7	0.6	
人件費	235	239	△ 4	△ 1.5	470	484	△ 14	△ 2.8	
のれん償却額	54	53	1	2.6	108	106	2	1.5	
その他	281	266	15	5.8	567	548	19	3.5	
総人件費	401	418	△ 17	△ 4.0	810	850	△ 40	△ 4.7	

③ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2014年度 上期予想	2013年度 上期実績	増減額	増減率%	2014年度 通期予想	2013年度 通期実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,986	1,996	△ 10	△ 0.5	4,043	4,072	△ 29	△ 0.7
国内医療用医薬品	1,579	1,710	△ 131	△ 7.6	3,260	3,417	△ 157	△ 4.6
レミケード	333	390	△ 57	△ 14.7	687	763	△ 76	△ 10.0
メインテート	79	77	2	2.2	160	155	5	3.5
タリオン	56	51	5	9.2	157	137	20	14.6
セレジスト	79	91	△ 12	△ 13.6	153	178	△ 25	△ 14.0
クレメジン	60	64	△ 4	△ 6.3	120	126	△ 6	△ 4.4
シンボニー	54	44	10	22.1	120	94	26	28.1
ヴェノグロブリンH	63	56	7	11.7	118	111	7	6.2
ウルソ	56	64	△ 8	△ 12.3	110	124	△ 14	△ 11.4
レクサプロ	42	24	18	72.4	94	65	29	45.5
アンブラーグ	48	59	△ 11	△ 18.2	92	112	△ 20	△ 17.5
デパス	45	50	△ 5	△ 9.5	89	98	△ 9	△ 9.1
ラジカット	37	57	△ 20	△ 35.3	70	109	△ 39	△ 36.0
テネリア	31	0	31	-	67	8	59	743.8
ヘルベッサー	30	35	△ 5	△ 15.4	58	69	△ 11	△ 15.6
タナトリル	27	32	△ 5	△ 15.9	52	62	△ 10	△ 15.8
ワクチン	105	140	△ 35	△ 24.9	273	284	△ 11	△ 3.9
テトラビック	39	34	5	14.7	76	67	9	13.1
インフルエンザ	8	11	△ 3	△ 28.1	75	72	3	3.9
田辺製薬販売取扱品(注1)	66	67	△ 1	△ 1.2	144	141	3	2.5
海外医療用医薬品	113	104	9	8.4	215	220	△ 5	△ 2.4
ヘルベッサー	33	28	5	19.2	60	58	2	3.9
アルガトロバン(ノバスタン)	13	14	△ 1	△ 3.9	24	27	△ 3	△ 9.5
タナトリル	11	8	3	30.5	20	18	2	10.4
製造受託品(注2)	17	29	△ 12	△ 42.2	32	58	△ 26	△ 45.1
技術導出契約金等	277	153	124	81.2	536	376	160	42.6
一般用医薬品	22	24	△ 2	△ 9.6	43	45	△ 2	△ 3.7
医薬品事業合計	2,008	2,021	△ 13	△ 0.6	4,086	4,116	△ 30	△ 0.7

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 他社製品の製造受託品等

## ④ 設備投資／情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2014年度 上期予想	2013年度 上期実績	増減額	増減率%	2014年度 通期予想	2013年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	69	68	1	2.0	136	126	10	7.8
システム投資額／発生ベース	10	11	△ 1	△ 5.4	19	21	△ 2	△ 10.1

2014年度の主な設備投資予定		2014年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	39億円	研究開発関係システム	8億円
研究開発関係設備	29億円	生産関係システム	1億円
その他 (新本社・加島オフィス棟建設)	68億円 (60億円)	その他	10億円

## ⑤ 減価償却費予想

(単位:億円)

	2014年度 上期予想	2013年度 上期実績	増減額	増減率%	2014年度 通期予想	2013年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	36	37	△ 1	△ 3.2	75	79	△ 4	△ 5.0
無形固定資産	8	6	2	36.5	16	13	3	26.1

## 4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満四捨五入)

### ① 損益計算書

(単位:億円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度予想
売上高	4,047	4,095	4,072	4,192	4,127	4,090
売上原価	1,478	1,546	1,523	1,664	1,694	1,615
売上総利益	2,569	2,550	2,549	2,528	2,433	2,475
販管費	1,955	1,784	1,858	1,838	1,842	1,875
研究開発費	831	658	702	665	704	730
営業利益	615	766	690	690	591	600
経常利益	616	767	688	694	619	615
特別利益	1	6	12	42	153	-
特別損失	108	132	61	59	48	-
当期純利益	303	377	390	419	454	405

### ② 貸借対照表

(単位:億円)

	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末
総資産	7,969	8,187	8,199	8,668	8,865
流動資産	3,442	3,916	4,197	4,767	5,405
固定資産	4,526	4,271	4,003	3,901	3,460
負債	1,200	1,227	984	1,139	1,086
流動負債	778	877	696	861	818
固定負債	423	350	289	277	268
純資産	6,768	6,960	7,215	7,529	7,778

### ③ その他財務数値

(単位:億円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度予想
営業キャッシュ・フロー	239	591	372	606	699	-
投資キャッシュ・フロー	△ 612	△ 77	△ 632	△ 350	△ 243	-
財務キャッシュ・フロー	△ 171	△ 154	△ 172	△ 237	△ 211	-
設備投資	84	102	71	92	126	136
情報システム開発投資	8	8	12	22	21	19
減価償却費	133	124	125	84	92	91
自己資本比率(%)	84.1	84.3	87.3	86.3	86.4	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	4.6	5.5	5.5	5.7	6.0	-
1株当たり当期純利益(円)	53.91	67.27	69.54	74.67	80.92	72.19
1株当たり純資産(円)	1,194.79	1,230.16	1,275.85	1,333.22	1,365.52	-

### ④ 従業員数

(単位:人)

	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末予想
連結	9,266	9,198	9,180	8,835	9,065	9,006
単体	5,186	4,957	4,826	4,850	4,867	4,872

## ① 損益計算書

(単位:億円)

	2012年度					2013年度					2014年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
売上高	1,044 24.9%	994 23.7%	1,187 28.3%	966 23.0%	4,192 100.0%	1,039 25.2%	989 24.0%	1,204 29.2%	895 21.7%	4,127 100.0%	4,090
国内	956 25.7%	898 24.2%	1,052 28.3%	808 21.8%	3,714 100.0%	914 25.9%	853 24.1%	1,033 29.2%	734 20.8%	3,533 100.0%	3,392
海外	88 18.4%	96 20.2%	135 28.3%	158 33.1%	477 100.0%	125 21.0%	137 23.0%	171 28.8%	161 27.1%	594 100.0%	698
医薬品事業	1,019 24.6%	988 23.8%	1,182 28.5%	958 23.1%	4,147 100.0%	1,034 25.1%	986 24.0%	1,202 29.2%	894 21.7%	4,116 100.0%	4,086
国内	937 25.4%	897 24.3%	1,051 28.5%	807 21.9%	3,691 100.0%	913 25.9%	851 24.1%	1,031 29.2%	732 20.8%	3,528 100.0%	3,388
海外	82 18.0%	92 20.1%	131 28.8%	151 33.1%	456 100.0%	121 20.6%	135 22.9%	171 29.0%	161 27.4%	588 100.0%	698
その他	25 54.9%	6 13.9%	6 12.5%	8 18.7%	45 100.0%	5 47.5%	3 26.7%	2 14.9%	1 10.8%	10 100.0%	4
国内	19 80.4%	1 5.8%	2 7.3%	2 6.6%	24 100.0%	1 27.2%	1 23.4%	1 25.7%	1 23.6%	5 100.0%	4
海外	6 26.7%	5 23.0%	4 18.2%	7 32.2%	21 100.0%	4 64.7%	2 29.5%	0 5.8%	- -	6 100.0%	-
売上原価	406	386	475	397	1,664	435	389	506	364	1,694	1,615
売上原価率	38.9%	38.8%	40.0%	41.0%	39.7%	41.9%	39.3%	42.0%	40.7%	41.0%	39.5%
売上総利益	637 25.2%	608 24.1%	713 28.2%	570 22.5%	2,528 100.0%	604 24.8%	600 24.7%	698 28.7%	531 21.8%	2,433 100.0%	2,475
販売費及び 一般管理費	449 24.4%	474 25.8%	447 24.3%	468 25.5%	1,838 100.0%	442 24.0%	458 24.9%	448 24.3%	495 26.9%	1,842 100.0%	1,875
研究開発費	169 25.4%	173 26.0%	170 25.5%	153 23.0%	665 100.0%	176 24.9%	167 23.8%	171 24.3%	190 27.0%	704 100.0%	730
研究開発費 以外	280 23.9%	301 25.7%	277 23.6%	315 26.9%	1,173 100.0%	266 23.4%	291 25.6%	277 24.3%	305 26.8%	1,138 100.0%	1,145
人件費	129 24.9%	130 25.1%	125 24.0%	135 25.9%	519 100.0%	119 24.5%	120 24.8%	124 25.6%	121 25.1%	484 100.0%	470
のれん 償却額	25 24.6%	25 24.6%	26 25.5%	26 25.3%	103 100.0%	26 24.5%	27 25.0%	26 24.5%	28 26.0%	106 100.0%	108
その他	125 22.8%	145 26.3%	126 22.8%	155 28.1%	551 100.0%	121 22.2%	144 26.3%	127 23.1%	156 28.4%	548 100.0%	567
営業利益	188 27.3%	134 19.4%	266 38.6%	101 14.7%	690 100.0%	162 27.5%	142 24.1%	251 42.4%	36 6.1%	591 100.0%	600
経常利益	196 28.3%	135 19.4%	270 38.9%	93 13.3%	694 100.0%	171 27.6%	151 24.5%	256 41.3%	41 6.6%	619 100.0%	615
四半期 (当期)純利益	108 25.8%	87 20.7%	158 37.6%	66 15.9%	419 100.0%	104 22.9%	181 39.9%	153 33.7%	15 3.4%	454 100.0%	405

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

② 主要製品売上高

(単位:億円)

	2012年度					2013年度					2014年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
医療用医薬品	1,006 24.6%	974 23.8%	1,167 28.5%	948 23.1%	4,094 100.0%	1,023 25.1%	973 23.9%	1,191 29.3%	884 21.7%	4,072 100.0%	4,043
国内医療用医薬品	905 25.4%	861 24.1%	1,020 28.6%	780 21.9%	3,566 100.0%	885 25.9%	824 24.1%	1,005 29.4%	702 20.5%	3,417 100.0%	3,260
レミケード	179 24.4%	188 25.6%	198 27.0%	170 23.1%	735 100.0%	192 25.1%	199 26.0%	219 28.7%	154 20.2%	763 100.0%	687
セレジスト	50 27.2%	45 24.6%	50 27.0%	39 21.3%	184 100.0%	47 26.5%	44 24.9%	50 28.4%	36 20.2%	178 100.0%	153
メインテート	36 25.8%	33 23.6%	40 28.1%	32 22.6%	141 100.0%	40 25.7%	38 24.3%	44 28.6%	33 21.4%	155 100.0%	160
タリオン	31 21.3%	22 15.5%	37 25.8%	53 37.3%	143 100.0%	27 19.9%	24 17.5%	44 31.9%	42 30.7%	137 100.0%	157
クレメジン	31 25.7%	29 23.6%	35 28.7%	27 22.0%	122 100.0%	32 25.8%	32 25.2%	35 28.1%	26 20.9%	126 100.0%	120
ウルソ	35 26.3%	33 24.6%	37 27.6%	29 21.6%	133 100.0%	33 26.5%	31 25.0%	35 28.2%	25 20.3%	124 100.0%	110
ヴェノグロプリンH	29 26.1%	27 24.4%	32 29.2%	22 20.3%	110 100.0%	29 26.2%	27 24.6%	34 30.3%	21 18.9%	111 100.0%	118
アンブラーグ	37 28.3%	31 24.3%	35 27.0%	27 20.5%	130 100.0%	31 27.7%	28 24.9%	32 28.3%	21 19.1%	112 100.0%	92
ラジカット	37 28.0%	33 24.6%	37 27.7%	26 19.8%	133 100.0%	30 27.1%	27 25.1%	32 28.9%	21 18.9%	109 100.0%	70
デバス	28 26.7%	25 24.4%	28 27.4%	22 21.5%	104 100.0%	26 26.1%	24 24.7%	27 27.4%	21 21.8%	98 100.0%	89
シンボニー	10 19.7%	12 22.5%	16 29.5%	15 28.3%	53 100.0%	21 22.1%	24 25.2%	28 29.8%	21 22.9%	94 100.0%	120
レクサプロ	8 16.5%	9 20.0%	14 31.0%	15 32.5%	46 100.0%	10 15.9%	14 21.8%	23 35.4%	17 26.9%	65 100.0%	94
ヘルベッサー	21 27.7%	18 23.7%	21 27.9%	16 20.8%	76 100.0%	19 26.9%	17 24.7%	19 28.2%	14 20.2%	69 100.0%	58
タナトリル	20 27.7%	17 24.3%	20 27.6%	15 20.5%	71 100.0%	17 27.4%	15 24.6%	18 28.4%	12 19.6%	62 100.0%	52
ワクチン	61 21.3%	65 22.6%	114 39.5%	48 16.6%	288 100.0%	88 30.9%	52 18.3%	96 33.7%	49 17.1%	284 100.0%	273
テトラビック	-	-	27 59.3%	18 40.7%	45 100.0%	29 43.1%	5 7.5%	12 17.3%	22 32.2%	67 100.0%	76
インフルエンザ	0 △ 0.5%	16 20.5%	68 88.7%	△ 7 △ 8.7%	77 100.0%	△ 1 △ 0.7%	12 16.2%	65 90.6%	△ 4 △ 6.1%	72 100.0%	75
ミールビック	34 41.9%	21 25.6%	7 9.2%	19 23.3%	80 100.0%	32 54.0%	12 20.3%	3 5.4%	12 20.3%	60 100.0%	40
田辺製薬販売 取扱品 (注1)	48 25.5%	42 22.3%	55 29.2%	43 22.9%	190 100.0%	35 25.0%	32 22.5%	41 29.4%	32 23.1%	141 100.0%	144
海外医療用 医薬品 (注2)	45 19.5%	56 24.0%	50 21.6%	82 35.0%	234 100.0%	51 23.3%	53 24.1%	59 26.9%	57 25.8%	220 100.0%	215
ヘルベッサー	11 19.3%	12 19.4%	11 19.1%	25 42.2%	59 100.0%	15 25.3%	13 22.6%	15 25.1%	16 26.9%	58 100.0%	60
アルガトロバン (ノバスタン)	7 24.8%	7 23.5%	5 17.2%	10 34.6%	29 100.0%	7 24.8%	7 26.3%	7 25.3%	6 23.7%	27 100.0%	24
タナトリル	5 21.9%	4 20.2%	4 20.6%	8 37.3%	21 100.0%	5 25.8%	4 20.8%	5 27.2%	5 26.3%	18 100.0%	20
製造受託品 (注3)	17 25.3%	21 30.2%	13 18.8%	17 25.6%	68 100.0%	15 25.9%	14 24.5%	14 24.0%	15 25.6%	58 100.0%	32
技術導出契約金等	38 16.7%	36 15.9%	84 37.2%	69 30.3%	227 100.0%	71 18.9%	82 21.8%	113 30.0%	110 29.3%	376 100.0%	536
ジレニアロイリテイ	27 14.0%	33 16.9%	79 40.6%	56 28.6%	195 100.0%	65 20.1%	76 23.6%	95 29.6%	86 26.6%	322 100.0%	非開示
一般用医薬品	14 25.6%	15 27.5%	15 27.8%	10 19.1%	53 100.0%	11 25.5%	13 29.0%	11 24.4%	9 21.1%	45 100.0%	43
医薬品事業合計	1,019 24.6%	988 23.8%	1,182 28.5%	958 23.1%	4,147 100.0%	1,034 25.1%	986 24.0%	1,202 29.2%	894 21.7%	4,116 100.0%	4,086

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 2012年度より海外子会社の決算期を12月末から3月末に変更したため、2012年度は2012年1月から2013年3月までの15カ月決算となっております。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 6 新製品開発状況について(2014年5月8日現在)

### 1. 新規薬剤

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	日本	申請中 (2013年5月)	自社
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	台湾	申請中 (2013年1月)	米:ヴァーテックス ファーマシューティカルズ
		韓国	フェーズ 1	
MT-4666	$\alpha$ 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	国際共同治験*1	フェーズ 3	米:フォーラムファーマシューティカルズ *2
MP-214 (カリプラジン)	D <sub>3</sub> /D <sub>2</sub> 受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオンヒター
MT-9938 (ナルフラフィン)	$\kappa$ オピオイド受容体作動剤 (透析患者における難治性そう痒症)	米国	フェーズ 2	日:東レ
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	フェーズ 2	自社
		米国	フェーズ 1	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社
	(乾癬)	欧州	フェーズ 2	
	(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、米国	フェーズ 1	
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国	フェーズ 1/2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国	フェーズ 1	自社
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社

\*1:フォーラムファーマシューティカルズと共同開発

\*2: 2014年4月、エンヴィオからフォーラムファーマシューティカルズに社名を変更

## 2. 効能追加

製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
テラビック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (O型慢性肝炎[ジェノタイプ2])	日本	申請中 (2013年12月)	米:ヴァーテックス ファーマシューティ カルズ	
	(O型慢性肝炎[ペガシス併用])		フェーズ 3		
	(O型慢性肝炎[フェロン併用])		フェーズ 3		
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	日本	フェーズ 3	自社	
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患 治療剤 (小児・アレルギー性鼻炎)	日本	フェーズ 3	日:宇部興産	
	(小児・アトピー性皮膚炎)		フェーズ 3		
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病*)	日本	フェーズ 3	米:ヤンセン・ バイオテック	
	(特殊型パーチエツト病*)		フェーズ 3		
	(小児・クローン病)		フェーズ 3		
	(小児・潰瘍性大腸炎)		フェーズ 3		
	(乾癬:用法・用量の変更 [増量])		フェーズ 3		
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	自社	日本はノバルティス ファーマと共同開発 海外はノバルティスに 導出
トリビック (沈降精製百日せき ジフテリア破傷風混合 ワクチン)	ワクチン・トキシノイド混合製剤 (百日せきジフテリア破傷風感染予防; 2期接種)	日本	フェーズ 3	日:一般財団法人 阪大微生物病研究 会	一般財団法人阪大微 生物病研究会と共同 開発
ピンドレン (コレスチラン[INN])	リン吸収阻害作用 (小児・高リン血症)	欧州	フェーズ 3	自社	
コレバイン (コレスチミド[JAN])	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病)	日本	フェーズ 2	自社	
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)		フェーズ 1		

\*希少疾病用医薬品指定

### 3. 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先 (備考)
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[即放性製剤])	米国	審査完了報告通知(Complete Response Letter)受領 (2013年12月)	米:ヤンセンファーマシューティカルズ
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	フェーズ 3	
	(糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ3	
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	韓国	申請中 (2013年9月)	韓:ハンドク
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス (日本は、当社とノバルティスファーマの共同開発)
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[ $\alpha 4 \beta 7 / \alpha 4 \beta 1$ 阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	英:グラクソ・スミスクライン
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 2	日:マルホ
MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	韓国:サマファーマ
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	オランダ、 デンマーク	フェーズ 2	オランダ:デジマファーマ
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 1/2	日:協和発酵キリン
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シデム)
Wf-516	セロニン取り込み阻害 / セロニン1A受容体拮抗剤(うつ病)	欧州	フェーズ 1	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
Y-803	BRD阻害剤 (血液がん)	米国、欧州	フェーズ 1	スイス:オンコエシックス (治験コード:OTX015)

#### 4. 2013年度第3四半期決算発表時点(2014年2月3日)からの変更点

##### ① 自社開発品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2014年5月8日現在
トリビック (沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチン)	ワクチン・トキソイド混合製剤 (百日せきジフテリア破傷風感染予防; 2期接種)	日本	記載なし	フェーズ 3
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	米国	記載なし	フェーズ 1
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (炎症・自己免疫疾患)	米国	記載なし	フェーズ 1
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	記載なし	フェーズ 1

##### ② 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2014年5月8日現在
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[即放性製剤])	欧州	申請中 (2013年3月)	承認 (2014年4月)
	(2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	記載なし	フェーズ 3
	(糖尿病性腎症)	国際共同治験	記載なし	フェーズ 3
MKC-242	セロトニン1A受容体作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ 2	契約終了
TT-138	$\beta$ 3受容体作動剤 (頻尿/尿失禁)	米国	フェーズ 1	契約終了

## 5. 新製品開発状況補足資料(2014年5月8日現在)

### ① 新規薬剤

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2 選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。日本で2型糖尿病を対象に申請中。
MP-424 (テラプレビル)	プロテアーゼNS3/4A阻害剤。C型肝炎ウイルスのプロテアーゼを阻害し、ウイルス量を低下させる経口投与可能なC型慢性肝炎疾患治療剤。ヴァーテックスファーマシューティカルズ(米)より導入。台湾で申請中、韓国でフェーズ1。日本では、ジェノタイプ1のC型慢性肝炎疾患治療剤として製品名テラビックで販売中。
MT-4666	$\alpha$ 7nACh受容体作動剤。アセチルコリンおよびグルタミン酸シグナル伝達を賦活化させることにより、認知機能を改善。アルツハイマー型認知症を対象にフォーラムファーマシューティカルズと国際共同治験フェーズ3を実施中。
MP-214 (カリプラジン)	D <sub>3</sub> /D <sub>2</sub> 受容体パーシャルアゴニスト。統合失調症の陽性症状に加え、陰性症状や認知機能障害にも効果が期待される。ゲデオニヒター(ハンガリー)より導入。日本で統合失調症を対象にフェーズ2b/3。
MT-9938 (ナルフラフィン)	$\kappa$ オピオイド受容体作動剤。東レ(日本)より導入。透析患者の難治性そう痒症を予定適応症に、米国、カナダでフェーズ2。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。日本では、製品名テネリアで2012年9月に発売。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。腎保護作用を示す。糖尿病性腎症を対象に日本および欧州でフェーズ2、米国でフェーズ1。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制し、自己免疫反応を抑制する。イムセラ/ジレニアの後継品。多発性硬化症を対象に欧州およびカナダでフェーズ2。乾癬を対象に欧州でフェーズ2。炎症・自己免疫疾患を対象に日本、欧州および米国でフェーズ1。
GB-1057(人血清アルブミン〔遺伝子組換え〕)	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国で安定化剤としてフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダでフェーズ1。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤。欧州でフェーズ1。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H5N1]の予防を適応に、カナダでフェーズ2。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。季節性インフルエンザの予防を適応に、米国でフェーズ1/2。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H7N9]の予防を適応に、カナダでフェーズ1。

### ② 効能追加

製品名 (一般名)	補足説明
テラビック (テラプレビル)	日本で、2011年にジェノタイプ1のC型慢性肝炎疾患治療剤として発売。ジェノタイプ2に対する効能追加を日本で申請中。ベガシスとの併用療法およびフェロンとの併用療法を対象に日本でフェーズ3。
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去作用を有する。2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。日本で筋萎縮性側索硬化症〔2005年6月、希少疾病用医薬品指定〕の適応追加でフェーズ3。
タリオン (ペボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤。2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。日本で小児・アレルギー性鼻炎および小児・アトピー性皮膚炎の適応追加がフェーズ3。
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	世界初の抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤。日本で、2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤としての適応も取得。難治性川崎病〔2012年9月、希少疾病用医薬品指定〕でフェーズ3。特殊型ベーチェット病〔2012年9月、希少疾病用医薬品指定〕でフェーズ3。小児・クローン病でフェーズ3。小児・潰瘍性大腸炎でフェーズ3。乾癬：用法・用量の変更〔増量〕でフェーズ3。
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制することで免疫調整作用を発揮し、多発性硬化症におけるミエリンの破壊(脱髄)を防止する。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として発売。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎でフェーズ3(国際共同治験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
トリビック (沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン)	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン。百日せきジフテリア破傷風の予防〔2期接種〕を適応に、一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発。日本でフェーズ3。
ビンドレン/コレバイン (コレステラン〔INN〕/コレステミド〔JAN〕)	陰イオン交換樹脂製剤。日本では、1999年より高コレステロール血症治療薬として製品名コレバインで販売中。欧州(ドイツ、オーストリア、イギリス)では、高リン血症治療薬として製品名ビンドレンで発売中。日本で2型糖尿病でフェーズ2、高リン血症でフェーズ1。欧州で小児・高リン血症でフェーズ3。

③ 導出品

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病を対象に製品名 INVOKANA <sup>®</sup> としてヤンセンファーマシューティカルズが米国で、また、その関係会社が欧州で販売中。メホルミンとの合剤(即放性製剤)は欧州で2014年4月に承認を取得、米国では2013年12月にFDAより審査完了報告通知が発行された。メホルミンとの合剤[徐放性製剤]の生物学的同等性試験(フェーズ1)を米国で実施中。糖尿病性腎症は国際共同治験フェーズ3を実施中。
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療薬。韓国でハンドクファーマシューティカルズが承認申請中。
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。多発性硬化症治療薬として日本では、製品名イムセラで販売中。ノバルティスが日欧米で製品名ジレニアで販売中。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)を対象に国際共同治験でフェーズ3。日本では当社とノバルティスファーマが共同開発。
T-0047 (フィラテグラスト)	$\alpha 4 \beta 7 / \alpha 4 \beta 1$ 阻害剤。白血球の炎症部位への浸潤を抑制。グラクソ・スミスクラインが多発性硬化症を対象に欧州ほかでフェーズ2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。千寿製薬が緑内障を対象に国内でフェーズ2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。ミネルバ・ニューロサイエンス(米)が統合失調症を対象に欧州でフェーズ2。
TA-7906	外用PDE4阻害剤。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、マルホが国内でフェーズ2。
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。喘息を予定適応症に、サマファーマが韓国でフェーズ2。
TA-8995	CETP阻害剤。HDLコレステロールを増加させ、LDLコレステロールを低下させる。脂質異常症を予定適応症に、デジマファーマがオランダおよびデンマークでフェーズ2。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。血液透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症を予定適応症に、協和発酵キリンが日本でフェーズ1/2。
sTU-199 (テナトプラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1のPK/PD試験の結果、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間の優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが欧州でフェーズ1。
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤。うつ病を予定適応症に、ミネルバ・ニューロサイエンス(米)が欧州でフェーズ1。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。血液がんを予定適応症に、オンコエシックスが米国、欧州でフェーズ1。

## 7 その他

### 1. 関係会社

#### ① 関係会社数

	2013年度末	2012年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	31	28	3	増加) MTPC ホールディングス カナダ、 メディカゴ、メディカゴ U. S. A.、 メディカゴ R&D 減少) タナベ ヨーロッパ
非連結子会社数	2	1	1	増加) シミックCMO足利
関連会社数	5	3	2	増加) メイビック ヨーロッパ(旧タナベ ヨーロッパ)、 メイビック インディア
合計	38	32	6	

#### ② 連結子会社一覧

(2014年3月31日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	田辺三菱製薬工場(株)	1,130	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
2	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	三菱製薬(広州)有限公司	US\$48,500,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
4	天津田辺製薬有限公司	US\$16,230,000	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
5	吉富薬品(株)	385	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
6	(株)バイファ	100	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
7	田辺製薬古城工場(株)	400	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
8	田辺製薬販売(株)	169	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
9	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
10	田辺総合サービス(株)	90	100.0 (—)	3月末	不動産の管理、宣伝物制作等
11	(株)ベネシス	100	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
12	MPロジスティクス(株)	95	100.0 (—)	3月末	物流・倉庫業
13	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	US\$100	100.0 (—)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
14	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
15	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
16	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U. S. A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
17	タナベ U. S. A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	3月末	化成品等の販売
18	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
19	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 210,709,000	100.0 (—)	3月末	メディカゴグループへの投資
20	メディカゴ	CAD 187,041,900	60.0 (54.3)	12月末	ワクチンの研究開発・製造
21	メディカゴ U. S. A.	US\$99	60.0 (60.0)	12月末	ワクチンの製造
22	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	12月末	ワクチンの研究開発
23	三菱製薬研発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
24	広東田辺医薬有限公司	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
25	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
26	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
27	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
28	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
29	ミツビシ ファーマ ドイツ	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注) 上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

#### ③ 持分法適用関連会社一覧

(2014年3月31日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)エーピーアイ コーポレーション(注)	4,000	47.7 (—)	3月末	医薬品原体等の製造・販売
2	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

(注) 当社は、(株)エーピーアイ コーポレーションが募集する自己株式の取得に応じ、2014年4月1日付で同社株式を全株売却しております。

## 2. 株式の状況

### ① 発行済株式数

	2014年3月末	2013年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	426,862	424,977
期末発行済株式数	560,991,054	560,992,939
期中平均自己株式数	425,775	423,959
期中平均株式数	560,992,141	560,993,957

### ② 大株主の状況

順位	株主名	2014年3月末		2013年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	22,305	3.97%	2	26,235	4.67%
3	日本生命保険	13,574	2.42%	4	15,082	2.69%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	9,406	1.68%	3	16,153	2.88%
5	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	6	7,254	1.29%
6	ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	7,100	1.26%	7	7,100	1.26%
7	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY	6,650	1.18%	-	-	-
8	ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシートホルダーズ	5,238	0.93%	-	-	-
9	田辺三菱製薬従業員持株会	4,779	0.85%	9	4,747	0.85%
10	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	4,432	0.79%	21	2,202	0.39%

(注)従来は、大株主について信託財産、特別勘定等を合算(名寄せ)して表示しておりましたが、当事業年度より株主名簿の記載どおりに表示しております。

### ③ 所有者別株式数分布状況

	2014年3月末			2013年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	77	85,620	15.25%	81	104,341	18.59%
外国法人等	402	110,839	19.75%	388	86,473	15.41%
個人・その他(注)	16,660	28,217	5.03%	16,331	29,397	5.24%
その他の法人	270	334,919	59.67%	286	339,197	60.43%
金融商品取引業者	28	1,716	0.31%	44	1,900	0.34%
合計	17,437	561,314	100.00%	17,130	561,311	100.00%
単元未満株式の状況	-	103	-	-	106	-

\* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2014年3月末426千株、2013年3月末424千株)を含んでおります。

### ④ 配当金/株価推移

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度予想
1株当たり年間配当金(円)	28	28	35	40	40	40
配当性向(%)	51.9	41.6	50.3	53.6	49.4	55.4
(のれん償却前)	(39.0)	(32.9)	(40.0)	(43.2)	(40.5)	(44.4)
期末株価(円)	1,320	1,350	1,161	1,445	1,443	-
株式時価総額(億円)	7,411	7,579	6,518	8,112	8,101	-

## 参考

### 主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗TNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF<math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF<math>\alpha</math>抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーセツ病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 $\beta$ 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的な<math>\beta</math>1遮断剤。極めて高い<math>\beta</math>1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。2011年5月の「慢性心不全」の効能追加に続き、2013年6月に「頻脈性心房細動」の効能を追加、心不全と心房細動に効能を有する唯一の<math>\beta</math>遮断薬である。</p> <p>オリジン:(ドイツ)メルクセローノ</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売した。</p> <p>オリジン:宇部興産</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。</p> <p>オリジン:製造販売元:クレハ</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効能を持つ。</p>			
ヴェノグロブリンH	1992年1月発売	薬効	血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された静注用の免疫グロブリン製剤。重症感染症(抗生物質との併用)や川崎病の急性期などに使用される。また、2010年10月、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)」、2011年2月、「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多発性運動ニューロパシーを含む)の筋力低下の改善」、同年9月、「全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限り)」、2013年8月、「天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)」の効能追加に係る承認を取得。治療の選択肢が広がるとともに患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待している。</p>			
アンブラーグ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
<p>我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩解作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			

シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト抗ヒTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF <math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF <math>\alpha</math>抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。 (ヤンセンファーマとの共同販売) オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポーターへの選択性が高いSSRIで、世界97の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。 オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤(狭心症・高血圧症治療剤)
<p>世界で広く使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。降圧作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を減らすとともに、冠血管を拡張し冠血流量を増加させる。心臓保護効果を有する。</p>			
タナトリアル	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤(高血圧症治療剤)
<p>確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年1月には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
<p>既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
<p>麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

## ニュースリリース

2013年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2013年 12月13日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
12月20日	2型糖尿病治療剤「テネリア錠20mg」 効能一部変更承認取得のお知らせ「2型糖尿病」について併用の制限が解除
2014年 1月16日	抗ウイルス剤「テラビック錠250mg」ジェノタイプ2型C型慢性肝炎に係る追加適応の申請について
2月3日	新規アルツハイマー型認知症治療剤「MT-4666」国際共同第3相試験を開始
2月6日	代表取締役の異動に関するお知らせ
2月14日	ジェネリック医薬品の製造販売承認取得に関するお知らせ
2月17日	血漿分画製剤に関する共同プロモーション終了のお知らせ
3月31日	新規2型糖尿病治療剤「SGLT2阻害剤 カナグリフロジン」2014年度「日本薬学会 創薬科学賞」を受賞